

## 会議要録

会議名	第2回小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和2年10月9日(金曜日)午後3時30分から4時30分まで
開催場所	区役所7階 教育委員会室
委員	(出席者)福井正仁委員、松浦正和委員、小林千春委員、湯川康生委員  (欠席者)篠崎玲子委員
事務局	守屋友紀(指導主事)、野口由博(指導主事)、増岡文也(教育支援係)
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 資料説明 3 審議事項 (1) 一次審査集計の評価及び一次審査通過者について(書類審査) (2) 二次審査について(プレゼンテーション) 4 その他 5 閉会
配付資料	[席上配付] 次第 資料1 第1回小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者選考委員会議事録 資料2 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託一次審査採点表(集計) 資料2-1 事務局審査基準表 資料3 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託二次審査採点表 資料4 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託二次審査タイムスケジュール(案)

会議の結果及び主要な発言	
事務局	<b>1 開会</b> 本日、篠崎委員は欠席となります。 篠崎委員については、本委員会終了後、別途書類上での審査とさせていただきますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
事務局	<b>2 資料説明</b> (事務局説明)
事務局	<b>3 審議事項</b> (1)一次審査集計の評価及び一次審査通過者について (事務局説明)
委員Ⅲ	(各委員の講評) 資料の作り具合に事業者②より事業者④の方ができとしては良かったが、実際に現地につれていくという際には大きな差はないと判断し、二次審査のプレゼンテーション及び質疑応答の際にしっかりと審査を行っていきたい。
委員Ⅳ	事業者④は具体的に提案書がまとまっていた。しかし、事業者②及び事業者④ともこの事業に対する真摯な思いは見受けられたため、二次審査の場で、どの事業者が児童・生徒のためになるのかを審査していきたい。
委員Ⅱ	海外派遣の代替プログラムを事業者がどうとらえているのか、コロナ禍での実施となるので安全対策をどのようにとっているのか、児童・生徒への負担軽減が考えられているのか、この3つの観点で審査をした。 事業者④は代替プログラムの意義について冒頭で述べている点がよかった。 事業者②については、ウェブシステムのツールを活用するところは児童・生徒の負担軽減にも繋がり、現地に看護師を4名配置することは安全対策としてよかったと評価した。
委員Ⅰ	ホストファミリーに対する対応が事業者②より事業者④の方が手厚くなっていたことが評価の差につながった。 留学生、ホストファミリー、見学先での現地の人との交流など、国内にいながら海外派遣と同じような体験ができるかどうかを審査の基準においた。 提案の具体性からいうと事業者④のほうがまとまっていたが、どちらも短い準備期間でよくまとめたため、二次審査でしっかり評価をしていきたいと思う。

委員Ⅲ 事務局	<p>事後研修については教育委員会としてやる予定ではあるのか。それは両事業者との協議のうえで決めるということによいか。</p> <p>事後研修の日程の候補は決めているため、事業候補者の決定後に確定していく。</p>
委員Ⅰ	<p>具体的な人数の記載がない箇所について評価の差がつけられにくい点については二次審査の質疑応答の際に評価していくということで、一次審査については、事業者②、事業者④とも拮抗しているため、両者を一次審査通過者とした方がいいかがか。</p> <p>一同賛成</p> <p>協議の結果、一次審査通過者は事業者②、事業者④とする。</p> <p><b>(2)二次審査について(プレゼンテーション)</b> (事務局説明)</p>
委員Ⅳ 事務局	<p>プレゼンテーションする事業者は現地に同行する責任者がプレゼンテーション及び質疑応答に答えてもらえるか。</p> <p>各事業者に通知する際に同行する責任者にプレゼンテーション及び質疑応答をしてもらえるようにしてもらう。</p>
委員Ⅰ 事務局 委員Ⅳ 事務局	<p>二次審査には事業者は何名までの同行とするのか。 3名までとする。</p> <p>プレゼンテーション方法の方法は紙で行うのか。 プロジェクター及びスクリーンを用いてのプレゼンテーションとする。</p> <p><b>4 その他</b> (事務局説明)</p> <p><b>5 閉会</b></p>